

高知くらしの護身術

128

被害防止策

本当の自分を知る

(2009年4月21日掲載原稿)

「彼を知り己を知れば、百戦してあやうからず」孫子の言葉ですが、これを消費トラブルに置き換えると、「悪質業者の手口を知り自分の弱点を自覚すれば被害に遭うことはない」となるでしょうか。

手口を知るのは、報道やパンフレット等で勉強することが出来ますが、「自分を知る」ということは難しく人間の永遠のテーマといえます。

消費者被害について、「自分は大丈夫」という「あなた」、ありのままの「自分」ですか。演技していませんか。自分のことを知った「つもり」ではありませんか。

先日、ある役場の壁で「つもりちがい10ヶ条」を見ました。飲食店でもよく見かけますが、人間の心理をよく言い表していると思います。

- 1、高いつもりで低いのが教養
- 1、低いつもりで高いのが気位
- 1、深いつもりで浅いのが知識
- 1、浅いつもりで深いのが欲望
- 1、厚いつもりで薄いのが人情
- 1、薄いつもりで厚いのが面皮
- 1、強いつもりで弱いのが根性
- 1、弱いつもりで強いのが自我
- 1、多いつもりで少ないのが分別
- 1、少ないつもりで多いのが無駄

この他、人がどう思うか気になる、いやといえない、専門家の話となるとすぐ信じてしまう、体験談を素直に信じてしまう、非科学的な話でも信じてしまう、他人がやっていると安心してしまう、面倒になるとすぐ妥協してしまう、こういった自分の弱点に気がついていませんか。

悪質業者は人間の「弱点」と「つもりちがい」を標的にしてきます。

自分の弱点を自覚し「つもりちがい」を減らし本当の自分に近づき、悪質業者の不意の勧誘や「おいしい話」は、キッパリ断る勇気を持ちましょう。